

夢洲における物流交通対策について

令和4年11月22日
大阪港湾局

万博開催時の物流交通対策（案）

資料の
ー1

①CONPAS(※)の導入

(ゲート処理時間の短縮等)

- ・令和4年8月に2回目の試験運用実施
→ゲート受付時の処理時間60秒削減を確認(69秒→9秒)
- ・令和5年度中の本格運用をめざす

(※) Container Fast Passの略

②車両待機場の整備 済

(240台分確保)



③ターミナルゲート時間延長

(30分で最大200台分散)



(通常) 平日：8:30～11:30, 13:00～16:30
土曜：8:30～11:30

④荷捌き地の拡張 (ゲート増設)

(ゲート前待機スペース100台分確保)

(ゲート増設により、1時間当たり120台削減)

- ・令和5年度末完成予定



(写真はイメージ)

夢洲

夢洲コンテナ
ターミナル

咲洲

C8,9

C6,7

C1-4

⑤咲洲へシフト

⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転

- ・令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施
- ・令和4年11月に海上運搬による社会実験を実施

②車両待機場の整備

(150台分確保)

- ・令和5年3月末完成予定

⑤咲洲へシフト

⑤-1. 船舶着岸場所一時移転

- ・令和4年度中にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手予定
- ⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転
- ・令和4年11月に海上運搬による社会実験を実施

≪③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲へシフトは万博期間中のみ対策≫

物流交通対策概略工程（案）

万博開催
R7.4.13～10.13

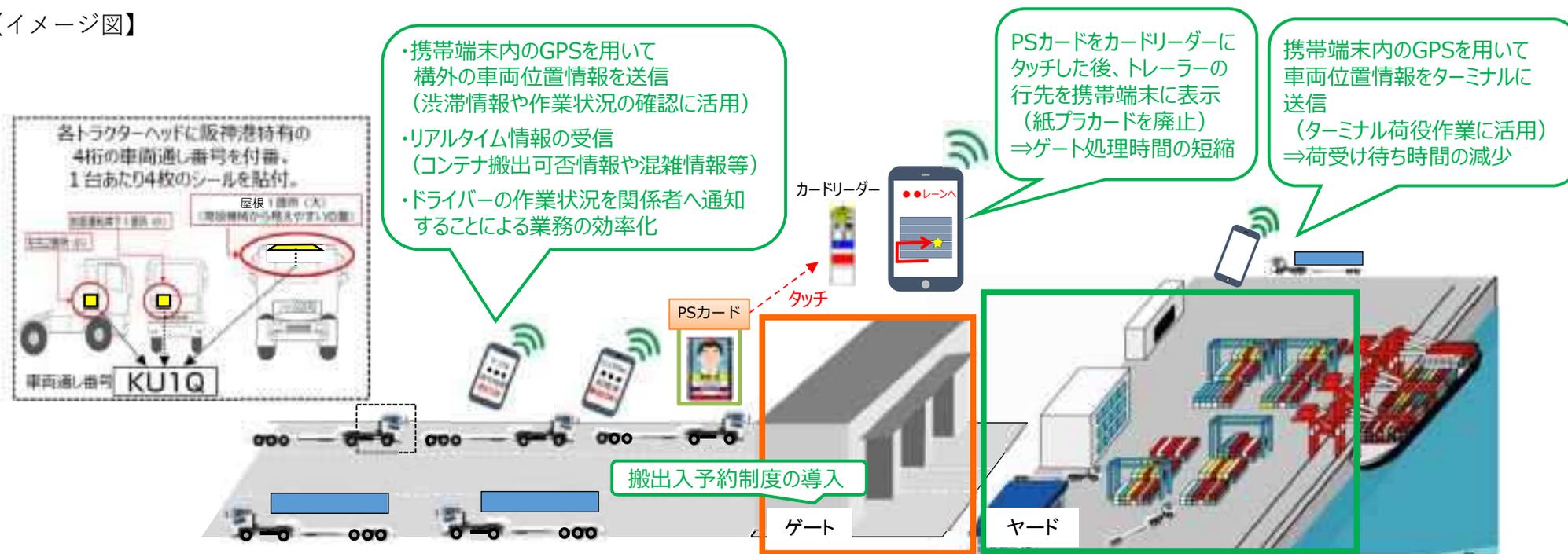
概要の
一

| 項目 | 概要 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | |
|-----------------|---|------------------|-----------------|---------------|------|--------|------|------|--|
| | | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
| ①CONPASの導入 | 新・港湾情報システム (CONPAS) | 概略・詳細設計、試験期間中の改修 | | | | 試験運用等 | 順次導入 | 本格運用 | |
| | | 詳細設計 | 工事 | R4.1.31～供用開始 | | | | | |
| | | 概略設計 | 詳細設計 | 工事 | | 供用開始 | | | |
| | | 社会実験 | 検討・協議等 | | | 社会実験 | | | |
| | | 検討・協議等 | | | | | | | |
| ②車両待機場の整備 | 夢洲での追加整備 | | | | | | | | |
| | 咲洲での追加整備 | | | | | | | | |
| ③ターミナルゲート時間延長 | 早朝等ゲートオープン時間の延長 | | | | | | | 実施 | |
| ④荷捌き地の拡張(ゲート増設) | C12コンテナターミナル拡張 [※] 、ゲート増設 (※ 増設ゲート周辺部分) | 検討・協議等 | 詳細設計 | コンテナターミナル拡張工事 | | | | | |
| | | | | 増設ゲート工事 | | システム導入 | 運用 | | |
| ⑤咲洲ヘシフト | 船舶着岸場所一時移転 空コンテナ返却場所一時移転 | 検討・協議等 | 詳細設計 | ガントリークレーン整備 | | | 試行期間 | 本格稼働 | |
| | | | 社会実験 R3.10実施 | 社会実験 | | 社会実験 | | | |

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【イメージ図】



≪導入スケジュール≫

- ・ 令和4年1月27日,28日 夢洲（DICT）において試験運用を実施。➡ システムが問題なく稼働することを確認。
 - ・ 令和4年8月22日(月)～9月2日(金) DICTにおいて2回目の試験運用を実施。
➡ 結果については次ページ参照。
⇒ 令和5年度中の本格運用をめざす。
- * 1,2回目の試験運用の対象：
輸入コンテナ（搬出・実入り）

※工事車両運行管理システムとCONPASの連携

- ・ CONPASにおけるコンテナ車両の事前予約情報（時間帯ごとの搬出入台数）を工事車両運行管理システム側へ提供する等、情報連携に向けて検討中。

進捗状況 1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【DICTにおける試験運用の様子】



① CONPAS車の車両待機場到着、予約確認、待機場内専用レーン通行



② ターミナルゲート到着
③ INゲートでの入場手続き（PSカードの読取り）



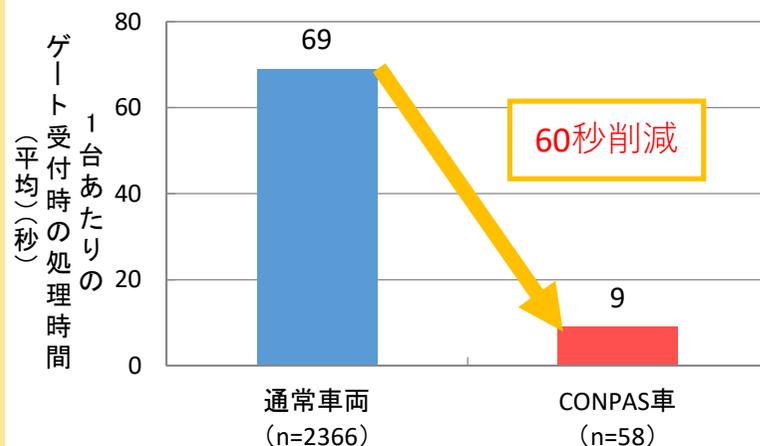
④ ドライバーに貸与した携帯端末へのヤード内行先表示（コンテナ蔵置場所表示）

- ⑤ ヤード内でのコンテナ積み込み作業
- ⑥ OUTゲートでの退場手続き
- ⑦ CONPAS車のターミナル出発

《第2回試験運用 実施概要》

- ・ 時期：令和4年8月22日(月)～9月2日(金)（約2週間）
- ・ 場所：夢洲コンテナターミナル（DICT）
- ・ 参加社数：海運貨物取扱業者 11社
海上コンテナ輸送事業者 11社
- ・ 実施内容：1) 営業コンテナ（輸入コンテナの搬出・実入）を対象としたゲート処理の運用・効率化の検証
2) 待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の確認
- ・ 予約枠設定：60分枠(基本)、7枠/日、15台/枠
- 予約件数（実績）：161件
- ゲート受付時の処理時間60秒削減を確認

ゲート受付時の処理時間（平均）（輸入コンテナ(搬出・実入り)）



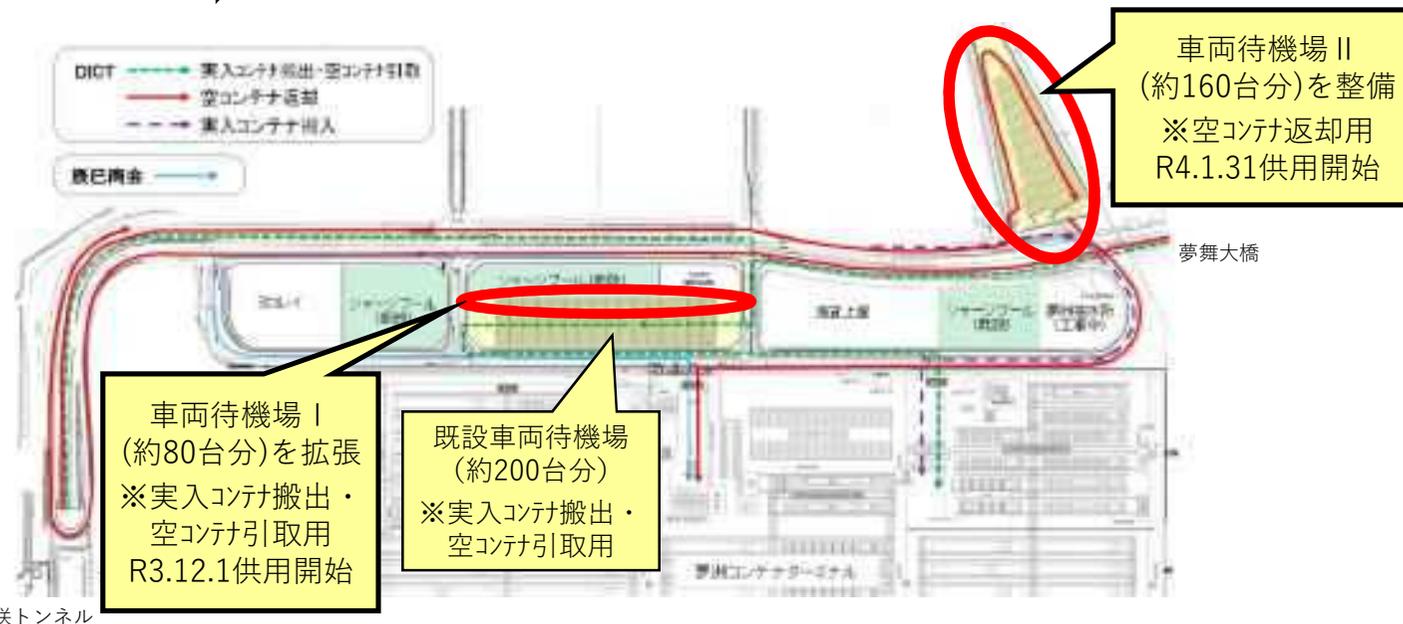
※通常車両(輸入コンテナ(搬出・実入り))のゲート受付時の処理時間は、大阪港DICT第1回CONPAS試験運用(令和4年1月)での計測値を使用。

進捗状況 2

② 車両待機場の整備

< 夢洲 > 令和3年度に約240台分を追加整備し、既設待機場と合わせて合計で約440台分の待機場を確保済み。

➡ 幹線道路上のコンテナ車両の滞留列は一定解消。



車両待機場Ⅱの使用状況



現在の幹線道路の状況

< 咲洲 > 車両待機場(150台分)の整備について、令和4年3月工事着手、令和4年度末完成予定。



咲洲車両待機場位置図



工事状況 (R4.10)

進捗状況 3

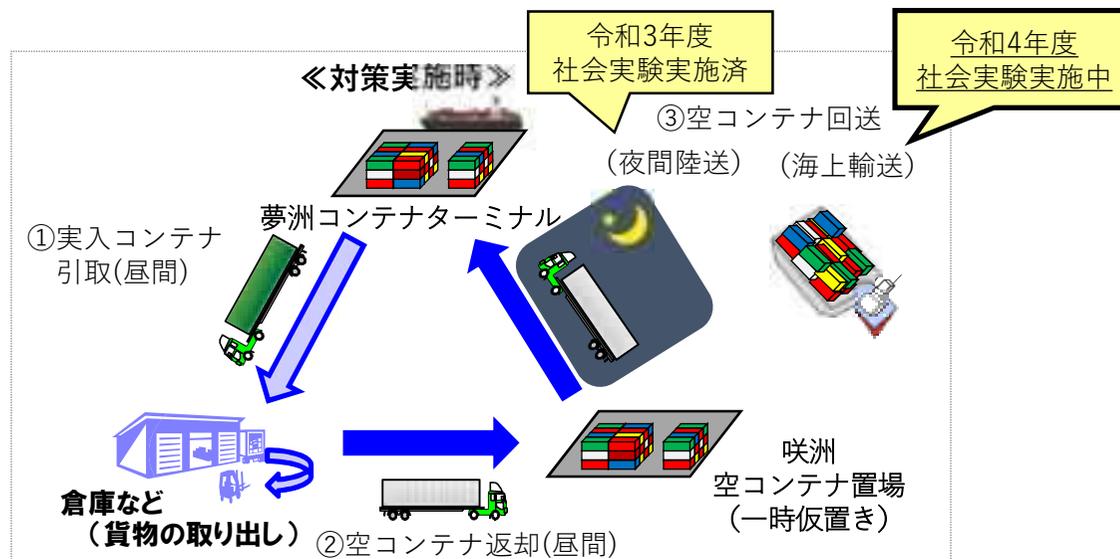
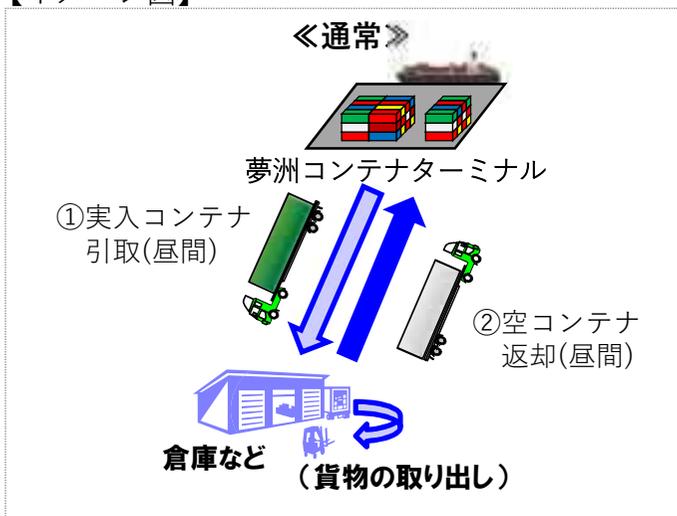
⑤-1 船舶着岸場所一時移転（咲洲C6,7埠頭 ガントリークレーン整備）

- ・ 令和4年度中に製作工事に着手予定。※設計業務を完了し、現在は工事契約手続き中（10/3 公告済、12/6 開札予定）

⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転

- ・ 令和3年度に社会実験を実施。 ➡ 13時時点の夢洲道路上待機台数▲21%（155台/日→123台/日）を確認。
- ・ 令和4年度の社会実験について、11月7日より実施中

【イメージ図】



「令和4年度社会実験実施概要」

- その1
 - ✓ 実施時期：令和4年11月7日(月)～11月30日(水)
 - ✓ 実施場所：咲洲C1コンテナターミナル
- その2
 - ✓ 実施時期：令和4年11月21日(月)～12月16日(金)
 - ✓ 実施場所：咲洲C6,7ターミナル
- ✓ 回送方法：海上輸送



バージ(はしけ)による空コンテナ海上輸送（咲洲から夢洲へ回送）